

剣道用具・剣道着・竹刀についての確認事項

大会を安全かつ円滑に運営するために、以下の点についてご確認ください。

1 面について

面金（物見部分）の変形により幅が広がっていないものを使用する。面ぶとんは肩関節を保護する長さがあるものとし、面紐の結び目が高い選手は直すように指導してください。

2 小手について

小手は、前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。また、小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5 cm以内とする。

3 剣道着について

剣道着の袖は、危険防止の観点から肘が隠れる長さとし、縫い上げ等の加工をしないように指導してください。

4 竹刀について

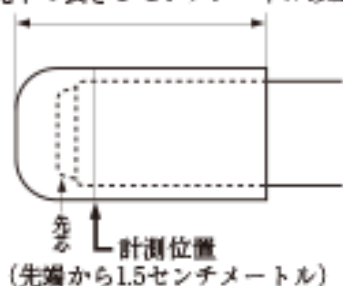
(1) 長さ・太さ・重さについては、次の基準による。

	性 別		中 学 生
長さ	男女共通		114 センチメートル以下
重さ	男 性		440 グラム以上
	女 性		400 グラム以上
太さ	男性	最 先 端 部 最 小 直 径	25 ミリメートル以上
		ち く と う 最 小 直 径	20 ミリメートル以上
	女性	最 先 端 部 最 小 直 径	24 ミリメートル以上
		ち く と う 最 小 直 径	19 ミリメートル以上

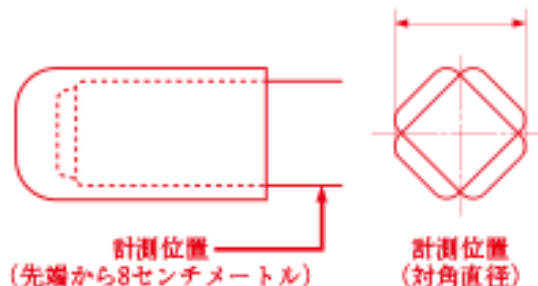
(2) 先革の長さは、50 ミリメートル以上とする。

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



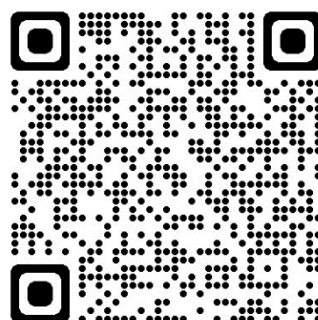
(3) 中結の位置は、全長の $1/4$ とする。



(4) 検査不合格の竹刀は、実行委員会で預かる。

5 その他

○ 詳細については、全剣連 HP (QR コード) をご参照ください。



(公財) 全日本剣道連盟HP内関連記事